

熊野古道について

【内容】

熊野古道とはどんな道で、何のための道ですか。

【回答】

紀伊山地には、熊野・高野・吉野の3つの霊場があり、それら3つの霊場を結ぶお参りのための道が熊野古道です。熊野古道は、一般的な呼び方で、正式には「熊野参詣道」と「大峯奥駈道」という2種類の道があります。もともと生活道だったところをよそから多くの人々が熊野三山（熊野本宮大社・那智大社・熊野速玉大社）へお参りする道があり、1,000年以上前から、上皇が多くのお供を連れてお参りした道で、田辺からの道は、中辺路と呼ばれています。その他にも大辺路、伊勢路、小辺路があります。一方、「大峯奥駈道」は、熊野本宮と吉野を結ぶ道で、山伏（修験者）の修行の道として平安時代から使われており、現在もなお修行の道として使われています。

（担当：文化振興課）